

あなたと一緒に、 市民主体の社会づくりを。

大阪ボランティア協会は、ボランティア活動や市民活動を通じて、
市民が主体となった社会づくりを目指しています。
協会がすすめる市民社会づくりにご協力をお願いします。

企業・団体 の方へ

賛助会員になる

協会の事業等を進めるにあたって、協会の理念や思いに賛同された方からいただく会費や寄付は、財源の大事な根幹をなしています。ボランティア活動や市民活動を支える私たちの活動にぜひ加わってください。

寄付をする

いただいたご寄付は、協会の重点テーマである「社会的孤立の抑制・解消」と、「災害支援・防災」に重点的に充てたいと考えています。「社会的孤立」状態になりやすい人々への支援や災害に強いまちづくりなど、私たちの活動へのご支援をお願いします。

※特定の事業に寄付する「事業指定寄付」も可能です。
※協会へのご寄付は寄付金控除の対象になります。

個人の方へ

会員になる

会員は、協会の事業活動を推進する重要な担い手であり、協会の活動を支えるための大事なスポンサーです。ボランティア活動や市民活動を支える私たちの活動にぜひ加わってください。

寄付をする

個人の方からの寄付もお待ちしています。クレジットカードや銀行振り込みの他、協会事務所へお持ちいただいてもかまいません。

協会の事業運営に参加する (アソシエーターになる)

協会では、ボランティアスタッフと職員を「アソシエーター」と呼び、対等に協働して一緒に事業を創っています。斬新なアイデア、組織の風通し、各々の専門的知識や経験、率直な批判、一緒に汗をかく仲間、元気の源など、ボランティアが協会に持ちこむさまざまなエネルギーが、市民活動の推進に不可欠と考えているからです。

あなたが動く、 社会が変わる。



詳しくは協会ホームページから
<https://osakavol.org>



ボラ協って、こんな団体です。

合言葉は「助け合って、元気になる！」
みんなが笑顔でお互いを助け合い、
助け合うことでさらに元気になる。
私たちはそんな社会をめざします。

大阪ボランティア協会は、1965年に誕生した民間の市民活動総合サポートセンターです。ボランティアをしたい人に活動先を紹介するとともに、ボランティアの応援を求める人や団体の思いを受けとめ、サポートします。

ボラ協にできること

● ボランティアコーディネーション

P4・5

ボランティアをしたい人に活動先を紹介するとともに、ボランティアを必要とする人や団体の思いを受けとめ、多様な人や組織をつないでサポートします。

● NPO/NGO運営支援・基盤整備

P6・7・15

講座や個別相談などによりNPO/NGOの設立や運営に関する情報を提供しています。また、市民活動の拠点として場の提供もしています。

● 企業市民活動推進

P8・9

「企業市民」活動、いわゆるサステナビリティ、SDGsなど企業の社会貢献活動の推進及び、企業と市民活動の連携のコンサルティングを行っています。

● 市民学習・研修

P10・11

一般市民向けから専門職向けまで、幅広い講座・研修・講師派遣を行っています。市民が主体となった社会づくりに不可欠な、学びと出会いの場を提供しています。

● 情報提供・出版・市民シンクタンク事業・政策提言

P10・11

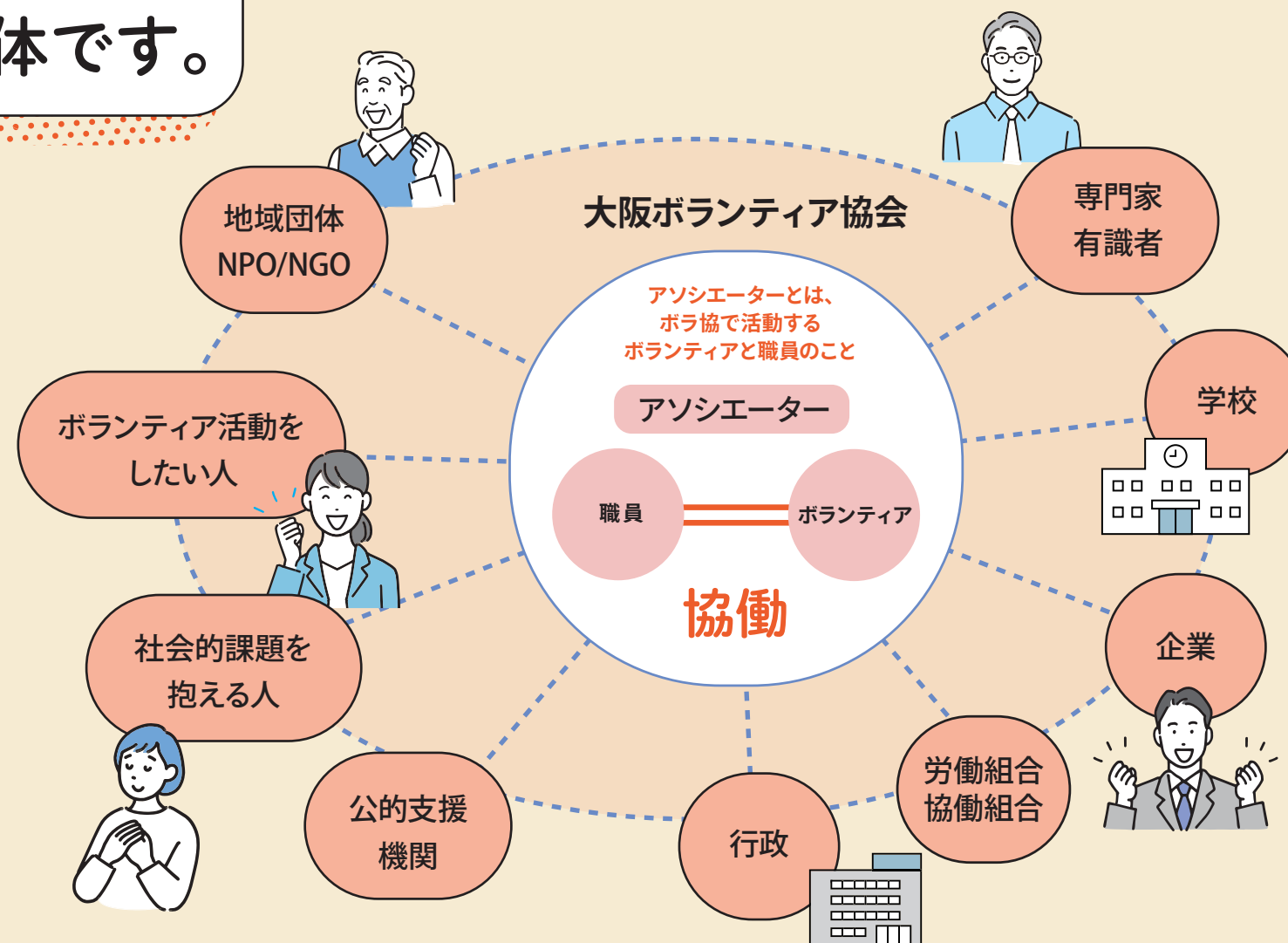
市民活動を推進する上での「モノの見方・考え方」の整理と理論化を進め、出版等による情報発信や研究受託を行っています。

● 災害支援・防災

P13

「だれひとり取り残されない」災害支援を目指して、さまざまな支援活動や平時からの連携・協働の促進に取り組んでいます。

大阪ボランティア協会



ボラ協の使命

より公正で多様性を認め合う市民主体の社会をめざし、ボランティアやNPO/NGO、企業の市民活動の推進に取り組んでいます。

社会の課題を他人事にせず、誰かが動き出すことで、徐々に活動の輪は広がっていきます。誰か＝あなたが動くこと、それが社会を変える一歩になります。みんなが笑顔でお互いを助け合い、助け合うことでさらに元気になる。私たちはそんな社会をめざします。

ボラ協では、市民が主体的に事業運営や協会運営全般に関わることを重視し、企画、運営、評価など、あらゆる場面にアソシエーター（ボランティアスタッフと職員）が参加しています。この仕組みのことを「参加システム」と呼んでいます。ボランティアスタッフと職員は、役割の違いはありますが共通の目的を目指す対等な存在です。

数字で見るボラ協

(2024年度)

● ネットワーク数 31領域

ボランティア、NPO/NGO、災害支援、防災、SDGs等さまざまな分野の団体とのネットワークに参画しています。

● ボラ協に関わる企業数 81社

多くの企業の社会貢献等に関する支援を行っています。また多くの企業に支えられています。

● パートナー登録団体数 113団体

ボラ協の専門性やネットワークをいかして、登録団体に対し、相談にのったり活動の場を提供したりなど、活動に必要なさまざまな資源をつないでいます。

● ボラ協の歴史 1965年

ボラ協は1965年に設立した日本で最も歴史あるボランティアセンターの1つです。

● 相談件数 年間583件

ボランティアをしたい、応援がほしい、解決してほしい課題がある……など、さまざまな相談が寄せられています。

● 講座参加者数 年間3,369人

対象も内容も多岐にわたる年200以上のボランティア活動や講座セミナーに、年間3,000人を超える方が参加しています。

● 共に活動するアソシエーター数 112人

ボラ協ではボランティアスタッフと職員を「アソシエーター」と呼び、対等に協働して一緒に事業を創っています。

コーディネート 〈ひとりひとりと共に〉

探してみましょう、あなたにピッタリのボランティア

ボランティアって、実はとっても自由で多彩なもの。まずは見学や体験からでOK!
ひとりで気軽に参加してもいいし、家族や友達、会社の仲間と一緒に参加できるものも。
ボラ協は、あなたにピッタリのボランティアが見つかるよう、全力でお手伝いします!

はじめての ボランティア説明会

これから、はじめてボランティア活動しようという個人を対象にした基本的なオリエンテーションを開催しています。「ボランティアってなに?」「どうやって活動始めるの?」などの、素朴な質問にお答えします。個別相談にも応じていますので、遠慮なくご連絡ください。



スキマ時間で お試しボランティア 「ボラスタ」

ボラスタ(ボランティアスタイル)は週末の新しい過ごし方として、「1回完結型・3時間でできるボランティア活動」を多彩なメニューで提供するプロジェクトです。各プログラムに、ボランティア活動経験者(ナビゲーター)と一緒に参加して活動をサポートし、ボランティア活動の楽しみ方をナビゲートします。



自分のペースで 参加できるサークル 「ゆるボラ」

ボランティアコーディネーターや他のメンバーと一緒に、自分のペースでボランティア活動を体験するサークルです。メンバー登録した人には、月1回程度のペースで参加案内を送るので、関心があるテーマのボランティア活動体験ができます。無理をせずに「できるときにできることを」という関わり方でOK! ゆるゆるいきましよう。月1回開催する交流会では、サークルメンバー(ボランティア)との交流ができます。



ボランティア コーディネーターに 相談する

ボラ協には、「ボランティア活動をしてみたい!」「ボランティア活動について聞きたい」という活動希望や、「ボランティアに応援してほしい」といった応援依頼など、ボランティアに関するさまざまな相談を受け付けているボランティアコーディネーターがいます。
電話、メール、面談、オンライン面談など、ご希望に応じて対応します。



インターネット検索サイト 「KV ネット」

京阪神を中心に、ボランティアの募集情報、ボランティア活動・市民活動に関するイベント、セミナー、スタディーツアーなどの参加者募集情報が満載の検索サイト「関西人のためのボランティア活動情報ネット(KVネット)」を運営しています。



ボランティアを始める前の
基本情報はこちら!



ボラ協でも ボランティアできます!

ボラ協では、事業運営に関わる全てのスタッフを「アソシエーター」と呼んでいます。ボランティアと職員からなる「アソシエーター」が、対等な関係で役割分担して事業を運営しています。ボランティア活動や市民参加にまつわるさまざまなテーマで活動するチームやユニットがあり、メンバーを募集している活動に参加できます。
あなたも得意なことや好きなことを生かして、「ボランティアアソシエーター」としてボラ協に関わってみませんか?詳しくはホームページをご確認のうえ、事務局スタッフまでお問い合わせください。



ボラ協の
ボランティア
スタッフ募集



ボランティア募集の お手伝いをします

ボランティアコーディネーターが「ボランティアしたい」「応援がほしい」という両方の相談に対応し、マッチングをしています。
日々の暮らしでの困りごとで身近な人に頼めなかったり、制度や民間サービスを使えなかったりするけど「何とかしたい」という相談に対応しています。
ボランティアコーディネーターが丁寧に話を聴き、必要に応じて専門機関とも連携し、ボランティアの募集をサポートします。

※使える既存のサービスや制度がある場合はご案内します。
※困りごとの内容によっては、ボランティアで対応できないこともあります。その場合は相談できる専門機関を探すといったお手伝いをさせていただきます。

コーディネート 〈NPO/NGO のみなさんと共に〉

NPO/NGOの活動をバックアップ&サポート

ボランティアグループ、NPO/NGOに対し、活動拠点の提供や、運営相談等を行っています。また市民参加を大切にする「パートナー登録団体」には、企業・行政・関心を持つ市民とつなぐなどの活動支援を行っています。まずはお気軽にご相談ください。

NPO/NGO の運営や 基盤整備への支援

課題や困りごとについて、団体に寄り添って一緒に考えます。

● NPO/NGOの運営の基礎に関する 相談対応・説明会の実施

新たに団体を立ち上げたい方や、NPO法人、一般社団法人などの法人格の取得を検討している方に向けて、法人格の意味あいや活動の始め方、団体の立ち上げ方などに関する「はじめてのNPO説明会」を希望に応じて開催しています。

● ボランティアマネジメント

「ボランティアを募集してもなかなか集まらなくて困っている」「役員だけで運営してきたが、もっと動ける仲間を増やしたい」といった団体のニーズに沿って、有効なボランティア募集の方法やボランティア参加での組織運営への助言をしています。必要に応じて有料での伴走支援もできます。

セミナー・書籍

● 研修・セミナー

ボランティアコーディネーションなど、NPO/NGOの運営やスキルアップに関する研修・セミナーを行っています。また、専門知識を持ったボラ協スタッフをセミナー講師として派遣しています。

● ファンドレイジング

寄付や会員になるという行為は「参加」の方法のひとつです。「活動を応援したいという気持ち＝共感」を得ることがベースになります。「共感」を呼び起こすための働きかけが鍵になります。皆さんの団体に合ったファンドレイジングの方法と一緒に考えます。

● 活動拠点機能の貸し出し

活動拠点を持たない団体に向けて、拠点機能（デスク・ロッカー・レターボックス・ワークスペース・会議室）の貸し出しを行っています。たとえばレターボックスを借りると、ボラ協の住所を郵便物等の宛先にすることが可能です。また、デスクで事務作業をしたり、ロッカーに荷物を置いたりすることができます。

● 書籍・情報誌の販売

ボラ協が発行する書籍や市民活動総合情報誌ウォロで、NPO/NGOの基礎知識や運営について学ぶことができます。



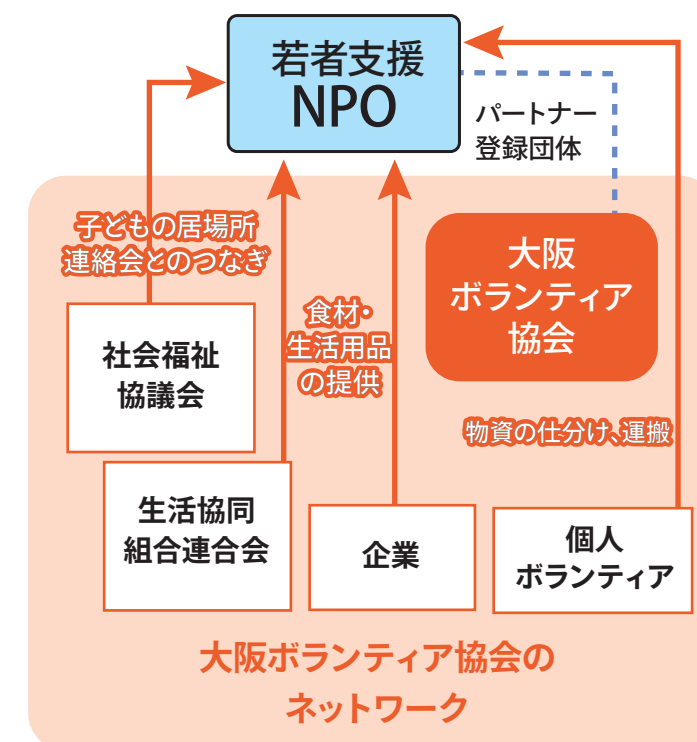
連携団体・企業の コーディネート

ボラ協がもつネットワークと強みを生かし、Win-Winをうみだす、丁寧なコーディネーションを行います。

● 企業とNPO/NGOの協働の コーディネート

現在の社会課題や困りごとは複雑にからみあっていて一団体では解決しづらいことが多くあります。解決のために重要となる団体と団体、行政、企業をつなぐコーディネーションをしています。

事例 コロナ禍で困窮する若者からのSOSが殺到したNPO法人と、食材や生活用品を提供可能な企業・機関や、それらの仕分け・運搬を担うボランティアとをつなぎ、新たな連携を生み出しました。



パートナー 登録団体になって ボラ協と連携しませんか？

パートナー登録制度

パートナー登録制度は、登録いただいたNPO/NGOとボラ協とが連携し、活動に必要なさまざまな資源をつなぐ登録制プログラムです。市民活動を推進するNPO/NGOと、企業・行政などの支援者や、活動に関心をもつ市民をつなぎ、寄付・寄贈のコーディネーションや、助成金申請などの推薦、運営相談などを行っています。113団体が、ボラ協とパートナーの登録をしています(2024年度)。パートナー登録団体になると、市民活動拠点「CANVAS谷町」を会員価格で利用できます。

申込手続き

パートナー登録申請書や必要資料を事務局までご提出ください。面談・審査ののち決定します。

登録料
年度1万円

詳しくは
WEBサイトを
参照ください



パートナー登録団体 コメント

ボランティア募集や活動の支え方など、ボラ協さんから学ぶべきことが多くあります。

コーディネート 〈企業のみなさんと共に〉

サステナビリティ、SDGsなど、企業の社会貢献活動をサポート

ボラ協には、1991年から企業と社会貢献活動・ボランティア活動をつないできた、豊富な実績と経験があります。ボランティア・社会貢献活動・NPO/NGO支援に取り組む全国の団体との豊富なネットワークに加え、関西を中心とした、サステナビリティ・社会貢献・ESG等の担当者のネットワーク組織を持ち、多くの企業とのつながりを生かしたサービスを提供しています。

ボランティア・社会貢献に関する社員研修の企画・運営

社員のボランティア活動推進のための研修や活動体験など、企業・労働組合のニーズに沿って、研修内容の提案や活動先の紹介などをしています。退職前の社員向けに退職後の生活を見据えてボランティア研修を実施したり、新入社員研修にボランティア研修を取り入れ、社会人として視野を広げるために社会課題に触れたり、社会資源を知る機会にしたりするのも効果的です。

● 新入社員向けボランティア研修の事例

2023、2024年度に実施

技術系企業の新入社員研修では、2日間のボランティア研修を企画・運営しました。「ボランティア」の説明やボランティア体験者の話を聞く座学、グループに分かれたボランティア活動体験を実施し、企業にも、活動体験を受け入れたNPOにも好評をいただきました。

● 社員のボランティア推進研修の事例

2024年度に実施

製造・販売業の企業では、社員のボランティア活動を推進するための研修を実施しました。研修の最後にボランティア有給休暇制度を説明し、研修に参加できなかった社員にもオンデマンドで視聴してもらえるようにしました。

● 退職前の社員向け社会貢献講座の事例

2024、2025年度にボラ協主催で実施

長く企業で働いてきた社員が退職後も生きがいを感じて豊かに暮らす方法の一つとして、社会貢献があります。地域や関心のある社会的テーマに関わることを後押しする講座を開催しました。講座では座学と現場見学でより具体的な活動を知ることができます。



寄付寄贈先のNPO/NGOを紹介

チャリティイベントの収益を寄付したい、災害被災地を支援している団体に寄付したい、NPO/NGOの活動に役立つものを寄贈したい、会社の移転にともない什器を寄贈したい、などの希望があれば、寄付先・寄贈先をコーディネートします。

企業からの寄付寄贈物品事例（一例）



企業とNPO/NGOの マッチング

ボラ協がもつNPO/NGOとのネットワークを生かして、企業とNPO/NGOがそれぞれの強みを発揮し弱みを補い合うWin-Winの協働をお手伝いします。

製薬会社との事例

2016～2024年度に実施

長期療養の子どもたちとその家族を支えるNPOを応援するプログラムを実施しました。関西を拠点に活動する9団体の活動や課題を広く知り、自分ができることを考えてもらうため、「はじめての一步」ハンドブックを作成し、9団体とともに啓発チャリティイベントを実施しました。



助成プログラム 企画・運営

企業等による助成プログラムの協働事務局として、プログラム開発、選考過程での助言、助成先団体の運営フォローなど、総合的にサポートしています。

● ボラ協が事務局を担う 助成事業

Shinmyo

真如苑
公募助成



阪急阪神
未来のゆめ・まち基金



阪神高速
チャレンジプログラム

勉強と情報共有の 場を提供します

サステナビリティ・リンクアップフォーラム

企業の社会貢献・サステナビリティ・ESG・SDGsなどの担当者が2カ月に1回、関連するトピックスについて学び、議論する会員制フォーラムです。企業だけではなくNPO/NGOも会員となって、特に「社会（ソーシャル）」「パートナーシップ」を重点としています。会員で構成する幹事会を中心に企画し、20を超える会員企業・団体が最新のトピックを学びます。各担当者が業種を超えて情報交換できるネットワークの場でもあり、会員制だからこそ、現場での「本音」の悩みを出発点にした実践的な学びが得られます。

フォーラム 年6回

テーマに沿った話題提供者を招き、会員企業の情報交換やフィールドワークを行います。フォーラム後、講師・会員間の交流や情報交換のための懇談会も開催しています。



調査研究とノウハウの提供

知り考えることで、みんなにより良い未来へ

社会のありようを自ら考え、主体的に市民自治を進めるために、出版・市民シンクタンク事業、市民学習・研修、講師派遣等を行っています。

調査・研究・政策提言

市民活動を推進する上での「モノの見方・考え方」の整理と理論化を進め、出版等による情報発信や研究受託を行っています。

● ボランティア・市民活動研究所

ボランティア・市民活動研究所はボラ協の調査研究機能を特化し、研究者や実践者をメンバーに2009年に開設しました。2023年に、市民セクターが社会的孤立の抑制・解消に取り組むための「7つの提案」をまとめ、普及に取り組んでいます。専門家の協働・執筆による「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」の発行も手掛け、2014年の初版が日本NPO学会賞、2022年の増補改訂版が同特別賞を受賞しています。

● “裁判員ACT”裁判への市民参加を進める会

裁判員制度が始まった2009年以来、市民が自分の問題として司法について考え、さまざまな問題解決に取り組む社会をめざすために活動を始めました。市民目線で裁判員制度を考え、司法への関心を深めるとともに、司法に市民の力を生かせるような場づくりを行っています。



● ボランティア・市民活動ライブラリー

ボランティア・市民活動に関する書籍、報告書など約5,000冊を所蔵しています。「CANVAS谷町」で自由に閲覧できます。会員限定で無料貸し出しを行っています。

ボランティア・市民活動ライブラリー蔵書検索



出版

● 市民活動総合情報誌ウォロ

ボランティア・NPOをもう一步深く！ボラ協が発行する市民活動総合情報誌です。社会問題そのものの紹介よりも、その問題に市民やNPO/NGOがどのように関わっているのか、かわる必要があるのか、という視点を大切にしたいオピニオン誌です。



定期購読の申し込みは
協会ホームページから



● 書籍出版

ボラ協は、市民活動に関わる「モノの見方・考え方」を整理し、書籍として発行しています。購入は協会ホームページから。



協会の発行書籍



講師の派遣

ボランティアに関する相談対応やマッチング、ボランティアの参加による組織づくり、多様な主体のネットワークづくりなど、ボラ協が長年培ったボランティアコーディネーションのノウハウを提供します。

講師派遣・研修企画
についての詳細



ボランティア入門

ボランティア入門からリーダー研修まで、ボランティア・市民活動の魅力やヒントを分かりやすくお伝えします。

ボランティアコーディネーション、地域・行政との協働、災害時の協働

ボランティアコーディネーションの役割や、平時・災害時の地域や行政と市民活動団体の協働の視点などをお伝えします。

NPO/NGO市民活動団体の運営・経営

NPO/NGO・市民活動団体の運営に役立つさまざまな知識やノウハウ、ボランティアの参加による組織運営の在り方などを提供します。

職員・スタッフのスキルアップ

ボランティアやNPO/NGOの活動現場における心理的安全性を高めるためのコミュニケーションスキルやファシリテーション、ボランティアに関する相談対応などのポイント、NPO/NGO・市民活動団体の職員・スタッフのスキルアップにつながる研修を行います。

企業の社会貢献、企業人のボランティア参加

企業の社会貢献への理解を深めたり、社員向けにボランティアの魅力などをお伝えします。

市民学習・研修

主体的に社会参加するための学びを支援する場として、一般市民向けから専門職向けまで幅広い講座・学習会を行っています。

講座・学習会
についての詳細



新任ボランティアコーディネーターを対象に基礎的な理念から具体的な実践ノウハウまでを1日でコンパクトに学びます。



ボラ協が取り組んでいる社会課題

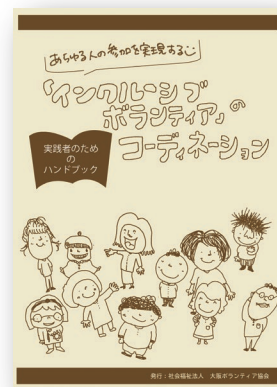
多様な主体による連携と市民参加の促進によって、社会課題解決のためのソーシャルイノベーションを起こします。中でも重点として「社会的孤立の抑制・解消」「災害支援・防災」に取り組んでいます。

社会的孤立の抑制・解消

子どもの貧困、生活困窮、ひきこもり、ひとり親家庭、外国人・外国にルーツをもつ人、被災者・避難者、障害者、病気を抱える人、LGBTQなど、「社会的孤立」状態になりやすい人たちを支え、「社会的孤立」を抑制・解消することに取り組んでいます。当事者の思いを中心に、ボラ協がもつネットワークを駆使し、NPO/NGO、企業、自治体、政府、専門職、研究者、そしてボランティア（市民）など多様な力をつなげます。さらに、潜在関心層の市民がさまざまな課題に気づき、参加する仕組みを生み出しています。

「インクルーシブボランティア」の環境づくり

年齢や国籍、病気、障害の有無等にかかわらず、ボランティア活動への参加に制約がある人も参加できるインクルーシブなボランティア活動の現場をつくるため、コーディネーターやボランティア・地域活動のリーダーのためのハンドブックを作成し、研修の実施や、講師を派遣しています。



レスパイトプロジェクト「たきびでととのう」

困窮家庭、ヤングケアラー等子どもらしい自由な時間や一人の時間をもちにくい子ども・若者たち、孤立しがちな障害者、きょうだい児、LGBTQ等やその支援者に、焚火を囲んでレスパイト（日常から離れた休息）の時間を過ごしてもらおうプロジェクトです。一般社団法人72時間サバイバル教育協会と協力して実施しています。



市民セクターが社会的孤立の抑制・解消に取り組むための「7つの提案」

ボランタリズム研究所は、2023年10月に社会的孤立の抑制・解消へ向けた「7つの提案」をまとめました。自立と相互依存の権利を大切にすることや、孤立の構造的要因に目を向けてアドボカシーに取り組むことなどです。今後、活動の中で話し合う素材として使っていただくよう提案しています。

7つの提案

1. 自立と相互依存の権利を大切に
2. 当事者性の概念を広げて市民参加の発展を
3. 孤立の構造的要因に目を向けてアドボカシーに取り組む
4. 行政責任の曖昧化を許さない
5. 地域特性に応じた地域自治組織の整備と強化
6. 市民活動相互や地域組織との連携・協働
7. 中間支援組織の役割強化

災害支援・防災

ボラ協は阪神・淡路大震災発災直後に経団連1%クラブ等と共に「被災地の人々を応援する市民の会」（日本初の災害ボランティアセンター）を結成し、のべ2万1,000人の市民とともに救援復興活動に取り組みました。東日本大震災以降、災害時には、企業、NPO/NGO、社会福祉協議会などとの多様なネットワークを生かした支援活動を行い、被災者の思いやニーズをしっかりと受け止めつつ、ボランティアの思いを大事にするコーディネート環境づくりや後方支援にも取り組んでいます。また、地元大阪での災害時に備え、「おおさか災害支援ネットワーク（OSN）」の世話役団体として、日頃から多様な組織・団体の顔の見える関係づくりに取り組んでいます。



発災時の対応

ボラ協は、発災直後から、日頃つながりのある団体などと協力して情報収集にあたり、現地で支援活動を行うNPO/NGOの支援や、被災された人々のために何かしたいという企業・市民の力が発揮できるようコーディネートします。地元での災害時には、「おおさか災害支援ネットワーク（OSN）」の世話役団体として、大阪府、大阪府社会福祉協議会と連携し、スムーズな復旧、復興に向けて多様な主体をつなぎます。



スペシャルニーズ支援

災害が多発する中、障害者・難病者、子ども、外国人など個別の事情に応じた「とっておきの配慮」（スペシャルニーズ）を必要とする人たちへの対応は遅れがちになります。災害時に孤立する人を生み出さないために、ボラ協は平時から障害者・難病者、子ども、外国人などの支援を行っているNPO/NGOやボランティアグループとともに調査・研究や研修・啓発活動などを行っています。



災害支援のネットワーク

ボラ協は、企業・NPO/NGO・協同組合・社会福祉協議会・行政など、さまざまな組織とのネットワークを構築し、平時からの備えや災害時の支援・復興活動に取り組んでいます。

参加している主な災害支援ネットワーク

震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）
3.11 from KANSAI 実行委員会
おおさか災害支援ネットワーク（OSN）
大阪災害支援活動連携会議（三者連携）

ボラ協 の 組織概要

ミッション

より公正で多様性を認め合う市民主体の社会をつくるために、
多彩な市民活動を支援するとともに、
他セクターとも協働して、市民セクターの拡充をめざします。

ミッションを達成するための3つの目標

1. 市民自治の確立

一部のエリートや専門家などが主導するのではなく、市民自身、当事者自身が企画・実行する「市民自治」を追求します。

2. 創造的に社会を変えようとする 人たちの支援と変革の実行

社会的課題を解決するためのさまざまな新機軸を創出する「社会的イノベーション」を支援し、自らも実行します。

3. 市民の力が発揮されるための支援

市民にとって暮らしやすい社会を実現するために、市民が持つさまざまな能力を創造的に発揮するための環境づくりを支援します。

団体概要

団体名 社会福祉法人大阪ボランティア協会

代表者名 早瀬 昇(理事長)

事務所所在地

〒540-0012

大阪市中央区谷町2丁目2-20 2F(大手前類第一ビル)

市民活動スクエア「CANVAS谷町」

電話 06-6809-4901 FAX 06-6809-4902

設立年月日 1965年11月7日

(1993年7月15日に社会福祉法人に登記変更)

基金額 1億6,879万円

事業支出 8,440万円(2024年度)

役員・評議員数 理事6人、監事3人、評議員12人

市民活動推進60年の歴史

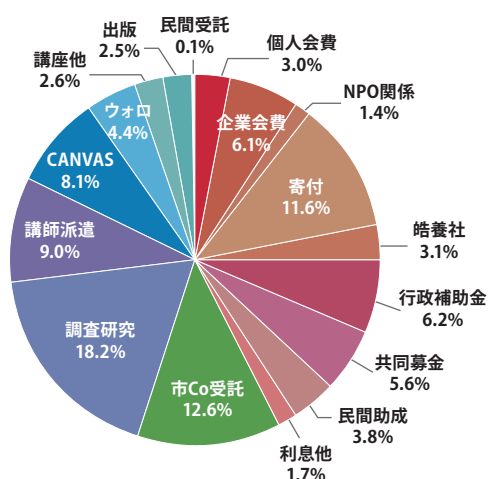
ボラ協は、1965年に設立した日本で最も歴史あるボランティアセンターのひとつです。日本初のボランティアスクールを開講し、以来、「個人の力はやがて大きな力になる」と信じ、会員による自主的運営を核に活動しています。

取り組む事業

- ボランティアコーディネート
- NPO/NGO運営支援・基盤整備
- 企業市民活動推進
- 市民学習・研修
- 災害支援、防災 **重点**
- 情報提供・出版・市民シンクタンク事業・政策提言
- 社会的孤立の抑制・解消 **重点**
- ネットワーク推進

多様な財源

〈収入元の内訳：2024年度〉



市民活動の場の支援 「CANVAS 谷町」

市民活動スクエア「CANVAS(キャンパス)谷町」は、市民活動に取り組む団体のためにボラ協が運営する市民活動拠点です。

打ち合わせや研修などができる貸会議室、活動推進のためのデスク・ロッカー・レターボックスなどを提供しています。



団体の拠点
(貸しデスク・ロッカー・レターボックス)



セミナー室



たたみスペース



- 開館時間：日・祝・月曜10時～18時、火～土曜10時～21時
- 休館日：第2日曜、祝日または振替休日となる